

日本選手権対象大会・第75回東京スポニチ大会・第62回長野大会・第49回四国大会・第67回静岡大会  
出場チーム対象の投手力の比較表

チーム名	試合数	防御率	勝利	敗戦	打席	打数	投球回	投球数	被安打	奪三振	与四球	与四死球	失点	自責点	#出塁
明治安田生命	9	4.83	7	2	366	302	80	1511	94	50	36	9	49	43	1.64
セガサミー	4	1.59	3	1	137	124	34	545	26	38	8	4	6	6	1.00
鷺宮製作所	6	3.8	3	3	226	126	52	863	51	44	21	0	26	22	1.39
東京ガス	3	1	1	2	101	91	27	398	13	30	1	0	6	3	0.87
NTT東日本	3	0.62	2	1	117	100	27	418	23	16	11	2	4	2	1.17
JR東日本	3	0.41	2	1	73	71	22	238	8	18	2	0	1	1	0.45
SBARU	4	1.66	3	1	151	135	38	584	31	30	8	2	9	7	1.03
HONDA	4	1.25	3	1	138	121	36	514	23	26	7	1	6	5	0.83
日本通運	3	1.71	2	1	104	94	26・1/3	378	21	26	8	0	7	5	1.10
ENEOS	8	2.57	7	1		253	70	1099	56	49	20	3	22	20	1.04
東芝	8	3.91	5	3	307	249	69	1104	62	67	17	7	30	28	1.23
日本製鉄鹿島	3	1.86	1	2	112	93	29	419	11	25	10	12	11	6	0.72
JFE東日本	4	3.89	3	1	162	130	37	605	30	31	19	2	16	16	1.00
かずさマジック	3	1.8	2	1	96	86	25	346	16	12	6	1	5	5	0.88

自責点×9×3÷投球回数×3

出塁とはイニングにおける出塁数

#出塁率は塁打数+四死球数÷投球回数

但し明治安田生命・ENEOS・東芝・被塁打数が不明のため平均値といたしました。

第75回JABA東京スポニチ大会

明治安田生命・鷺宮製作所・東京ガス・東芝・ENEOS・JFE東日本・日本製鉄鹿島 明治安田生命準優勝

第62回JABA長野県知事旗争奪大会

明治安田生命・鷺宮製作所・ENEOS・JFE東日本・ENEOS優勝

第49回JABA四国大会

セガサミー・日本通運・東芝 東芝優勝

第67回JABA静岡大会

NTT東日本・JR東日本・SUBARU・かずさマジック

ENEOS・東芝は各々の大会で優勝のため日本選手権大会出場枠を獲得した。

明治安田生命は二大会において健闘致しました。第75回東京スポニチ大会は準優勝・第62回長野県知事旗争奪大会はベスト4と善戦  
明治安田生命の課題は投手力の強化。表を見てわかるように投球数が多い。四死球も多く#出塁率も多く野手のリズムと攻撃陣のリズム  
にも影響を生ずる。特にカント1ボール2ストライク・2ボール2ストライクからの**ファーされる数も多く、このカントでゴースを打たせる工夫が  
必要かと思う。**

日本選手権・都市対抗出場には投手陣の頑張りが絶対必要。

打撃陣は今の好調を維持するとともに東京スポニチ大会大会決勝戦では今一本が繋がらず完封負けとなった。

長野大会の決勝トーナメント東邦ガス戦でもチャンスにあと一本が繋がれていれば勝敗はわからなかった。

残された4月と5月の練習で課題を解決する練習に頑張ってください。

資料は日本野球連盟ホームページより

2021/4/12

土田唯雄